

No.1948

2月1日例会	プログラム	「日本の造船業の世界進出について」	白石 富喜太君
2月8日例会	プログラム	「よもやま話」	三宅 照正君
2月1日のメニュー	・鰻丼 ・お造り2種盛り ・茶碗蒸し ・赤出汁味噌汁 ・コーヒー		

前回(1月25日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	24名	欠席者数	10名	出席率	70.59%	前回補正率	79.41%
	前回補正者	緋田君 石川君 三宅(照)君 立石君								
	欠席者	藤原君 花岡君 井上君 三宅(孝)君 仲田君 中山君 大久保君 白石君 立石君 山田(次)君								

来訪者 富道雄様(大阪リバーサイドRC)

会長挨拶

先週はポリオの話でしたが、今日はポストポリオと言われるエイズについて述べます。一ヶ月前になりましたが、12月1日は“世界エイズデー”という事をご存じと思います。1998年、WHO(世界保健機構)はエイズ蔓延防止と、患者・感染者に対する差別、偏見の解消を図る事を目的として、この日を“World Aids Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発運動の実施を提唱しました。現在、世界では推計約4000万人以上がHIV/エイズに感染しており、毎日、新たに1万3000人以上が感染し、毎日8000人が亡くなっているそうです。大半は、アフリカ、アジア地区に集中しています。ポリオ制圧の後、このエイズの制圧が取り上げられるのではないかと考えております。日本は、先進国の中では唯一、HIV/エイズの感染者が増加しています。よそ事ではなく、もっとエイズ問題に関心を持たなければなりません。

会長報告

- ・本日は米山ランチでございます。
- ・明後日、27日のIMへのご出席宜しくお願い致します。

幹事報告

- ・鳥居ガバナーエレクトより国際協議会参加のはがきが届いています。
- ・森下ガバナー事務所より2010-2011年度地区ガバナー候補として小林完治会員(岡山西南RC)の略歴及び信任状提出の案内が届いています。
- ・森下ガバナー事務所より『識字率向上』についてのアンケートが届いています。
- ・森下ガバナー事務所より『米山学友ホームカミング制度』の案内が届いています。
- ・『友』インターネット速報N0319が届いています。
- ・RI公認の親睦グループ、ロータリー囲碁同好会よりロータリー国際囲碁大会(台湾、桃園市)の開催案内が届いています。
- ・岡山旭川ロータリークラブより『ロータリー活動の連携・友好を深める会(案)』の発足案内を頂いています。当クラブとしては参加させて頂く予定です。
- ・玉野商工会議所より『第3回「宇野港の桜公園・桜の並木道」清掃』の案内が届いています。当クラブとしては5名以上の参加をしたいと思いますので出席よろしくお願い致します。

2月10日(日)

時間: 11:00より

場所: 宇野港シーサイドパーク 宇野港ゆめ市場本部テント前集合

- ・2月のロータリーレートは1ドル108円です。
- ・27日のIMへの参加及び31日の大阪リバーサイドRCへの訪問について案内を配布。
- ・他クラブの週報と例会変更通知については回覧させて頂きます。
- ・鳥居ガバナー・エレクト事務所より2008~'09年度地区研究グループ交換委員会委員の谷口康則君に委嘱状及び承諾書が届いております。又、第1回2008~'09年度研究グループ交換(GSE)地区委員会開催の案内が届いております。

日時: 2008年2月24日(日)14:00~

場所: ホテルグランヴィア岡山

スマイル・ボックス

- ・富道雄様（大阪リバーサイド RC） - 三宅(照)玉野商工会議所新会頭の祝賀会、藤原前会頭、山田(次)前副会頭の慰労会で玉野に来ました。宜しくお願い致します。（一冊）
- ・松尾会長、谷口幹事、富永君、島田君、藤田君 - 富様ようこそいらっしゃいました。31日宜しくお願い致します。
- ・三宅(照)君 - 今日は皆様にお世話になります。（一冊）
- ・石川君 - 高橋(征)さん週報ありがとうございました。 前回欠席。
- ・渡邊君 - 米山ランチですので、宜しく願います。 公害審査委員会にて早退致します。
- ・林君 - 前回欠席。
- ・藤田君 - 拡声器の電源が入っておりませんでした。

プログラム 「ロータリー理解推進月間に因んで」 緋田 秀雄君

12月にプログラム委員会より、卓話を、それも表題に関連のある卓話をとのお話でした。さて、どのようなお話しをしようかと思ひながら「ガバナー月信」の12月号を読んでいたところ、渡辺好政 RI 理事の「ロータリーはよいところ」という文章に出会いました。これだと思ひ、この文章より何項目か取り上げさせて頂き、お話しさせて頂く事でロータリーを理解して頂ければと思ひます。理事には了承を得ております。

先ずロータリーの発足については皆様ご存じの通り、西暦1905年にシカゴで「ポール・ハリス」ら4人により、創設されました。理由は、次の大きな点によるものと思ひます。

1905年著しい社会発展の陰で、商工業道徳の欠如が目立つようになり、人間のもっと基本的なニーズである友人との親睦を図りたいとの考え方 (Friend ship)

この組織は全ての職業の人が参加し、それぞれが助け合い、組織として他者を助けたいとの考え方 (Business Development)

この第2の理由の組織として他者を助けたいとの気持ちが現在の「超我の奉仕」として進化したものと考えられます。ロータリーの記事も同じ考え方を持つ同志を無限に、永遠に求めていこうとするものだと思います。

ここで現在のロータリーを考えてみたいと思ひます。ロータリアンの義務として2つの事項があります。第一に例会出席、第二に会費納入の2項目だと思います。即ち第一については、毎週開催される例会に出席して気の合った人々と会話をし、楽しく食事をします。それも全て好人物との交際 (nice people) である、何と素晴らしい事かと思ひます。第二については、私の経験を交えてお話し致します。

先日、岡山の「さん太ホール」で岡山南 RC 主催の講演会があり、松尾会長、谷口幹事、三宅保昭社会奉仕委員長、白石国際奉仕委員長、そしてクラブ奉仕委員長として私の5名で参加致しました。その中で、私が最も印象に残った言葉があります。晩年、ユニセフ親善大使として世界中を駆け回ったオードリ・ヘップ・バーンの言葉でした。親善大使として活動するのに所謂、給料が無い人は活動に参加出来ないという事でした。そこで彼女が考えた事は年収1ドル、そして、活動に必要な資金として年100万ドルを寄付したいそうです。これに加えて、彼女の言葉が素晴らしかったです。「私の生きている時間、ほんの少しの財力を提供し、そしてほんの少しの時間をさいてこの活動を支援しています。」この言葉が私の頭から離れず今も残っています。即ち第2の会費納入により、その一部(少々)が色々な奉仕活動に生かされていると言う事ではないかと思ひます。

ここで渡辺 RI 理事の「ロータリーはよいところ」の文章のなかから(20項目のうち)4項目を取り上げお話ししたいと思います。それは

- ・個人的成長と発展 (Personal Growth and Development)
- ・楽しむ (Enjoy Rotary)
- ・家族のためのプログラム (Family Programs)
- ・「公式信条」のないこと (The Absence of an "Official Creed")

等々です。その他ロータリーの素晴らしい事が色々記載されています。

ここで最後にロータリアン同志の親睦そして交際について、私の感じた事をお話しして卓話を終わらせたいと思ひます。おそらくロータリアン同志は何年会わなくても、又経過しようとも会えば昨日会ったように会話がはずむはずです。これは学校の同期生同志の立場と全く一緒です。ここで私の感じた事を一言で言わせてもらうなら「年齢の違う同期生」と言う事だと思います。有難うございました。